

令和7（2025）年度

「運営に関する計画」

大阪市立平野西小学校

令和7（2025）年 4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 平成28年度に「あひるの力」を重点とした生活指導を徹底したことや、関係諸機関等と連携して指導したことにより、学校全体が落ち着きを取り戻してきた。今後も、生活指導について教職員全体で共通理解し、指導に当たる必要がある。
- あいさつをしたり、きまりを守ろうとしたりする児童の割合が増えるなど、社会性の育成に一定の成果があった。今後は、「あひるの力」を行動に移すことができる児童を増やしていくための取り組みが必要であると考ええる。
- 学年が上がるにつれて、年間30日以上欠席の児童数が多くなる現状があり、不登校対応に重点を置く必要がある。そのために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携をいっそう強化し、多角的に課題に取り組んでいけるようにする。
- 平成28年度から学校教育ICT活用モデル校になり、ICT活用の推進等によって意欲的に学習する児童が増えた。モデル校の役割は終えたが、ICT活用や教科教育について、さらに研究・研修を深め児童の学力を向上させることが課題である。
- コロナ禍によって、運動場に出て遊ぶ児童の割合は下がってしまったが、小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合は年々上昇している。引き続きいかに運動を楽しむことができるかを模索し、実施していく必要があると考ええる。
- 時間外超過勤務時間は少しずつ減少しているものの、大阪市の平均時間を超えていることもあり、勤務の構造を変える等して、教職員の意識を変えていく必要があると考ええる。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、85%以上にする。

年 度	4	5	6	7
児童の割合 (%)	76.6	77.4	81.5	

- 毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。

年 度	4	5	6	7
児童の割合 (%)	0.92	2.58	2.44	

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。

年 度	4	5	6	7
児童の割合 (%)	88.18	90.75	90.22	

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。

年 度	4	5	6	7
児童の割合 (%)	91.85	91.03	92.52	

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント(0.03)向上させる。

学 年	3	4	5	6
2023年度入学				
2022年度入学	0.82			
2021年度入学	0.94	1.00		
2020年度入学	1.00	0.98	0.93	
2019年度入学	0.82	0.76	0.71	0.75

※太枠が、令和7年度

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

年 度	4	5	6	7
児童の割合 (%)	62.6	64.9	68.58	

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

年 度	4	5	6	7
日数の割合 (%)	—	—	0.6	

- 令和7年度の第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Iを満たす教職員の割合を60%以上にする。

年 度	4	5	6	7
達成率 (%)	38.24	51.35	55.56	

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント(0.01)向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を57%以上にする。

大阪市立平野西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】		
学校の年度目標		
○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。		
年 度	前々年度	前年度
児童の割合 (%)	77.4	81.5
○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。		
年 度	前々年度	前年度
児童の割合 (%)	2.58	2.44
○ 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。		
年 度	前々年度	前年度
児童の割合 (%)	90.75	90.22
○ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。		
年 度	前々年度	前年度
児童の割合 (%)	91.03	92.52

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 いじめの未然防止と早期対応に教職員全体で取り組む。</p> <hr/> <p>指標 「いじめ（いのち）について考える日」を年3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 「あひるの力」について全教職員で共通理解を図り指導に取り組む。</p> <hr/> <p>指標 学期に1回以上強化週間を設定し、「あひるの力」を高める指導に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 公共物を大切にすることを育てる。</p> <hr/> <p>指標 校舎や清掃用具などを大切にすることを指導として、美化週間を学期に一回以上実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 自分自身を肯定的にとらえる心を育てる。</p> <hr/> <p>指標 学期に1回以上「キャリアパスポート」を更新し、自分の成長を振り返る機会をもてるようにする。</p>	

大阪市立平野西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																												
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント(0.01)向上させる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 学年</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 学年</td> <td>—</td> <td>0. 8 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 学年</td> <td>0. 9 4</td> <td>1. 0 0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 学年</td> <td>0. 9 8</td> <td>0. 9 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童の割合 (%)</td> <td>6 4. 9</td> <td>6 8. 5 8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年 度	前々年度	前年度	今年度	3 学年	—	—		4 学年	—	0. 8 2		5 学年	0. 9 4	1. 0 0		6 学年	0. 9 8	0. 9 3		年 度	前々年度	前年度	今年度	児童の割合 (%)	6 4. 9	6 8. 5 8		
年 度	前々年度	前年度	今年度																										
3 学年	—	—																											
4 学年	—	0. 8 2																											
5 学年	0. 9 4	1. 0 0																											
6 学年	0. 9 8	0. 9 3																											
年 度	前々年度	前年度	今年度																										
児童の割合 (%)	6 4. 9	6 8. 5 8																											

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」を促進する授業づくりを行う。また、教育におけるICTの活用方法に関する研修等を通して、学力向上に資する知見を広める。</p> <hr/> <p>指標 年間6回の授業研究会を行い、全学年が研究授業に取り組む。授業後には討議会を開くとともに、授業実践に関する研修会を校内で実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 児童の基礎体力向上のために、各学級で外遊びを勧める指導を工夫する。また、代表委員会や体育委員会が中心となり、基礎体力向上のための取り組みを企画、実施する。</p> <hr/> <p>指標 年間を通して、体育委員会が昼休みに外遊びを励行する取り組みを実施する。また、たてわり班活動や学級活動などで身体を動かす取り組みを年間2回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 日々の学級指導や健康に関する取り組み、保健指導、栄養指導等を通して、自ら健康な生活をしようとする態度を養う。</p> <hr/> <p>指標 給食の時間に、パワーアップクイズを各学級で取り組む。また、保健指導(各学級年間3回)、栄養指導(各学級年間2回)、保健委員会や給食委員会による健康に関する取り組み等を実施する。さらに、「ほけんだより」「えいようだより」を発行して家庭への啓発を行う。</p>	

大阪府立平野西小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数の割合 (%)</td> <td>—</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 I を満たす教職員の割合を 57%以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率 (%)</td> <td>48.65</td> <td>55.56</td> <td><u>55.56</u></td> </tr> </tbody> </table>	年 度	前々年度	前年度	今年度	日数の割合 (%)	—	0.6		年 度	前々年度	前年度	今年度	達成率 (%)	48.65	55.56	<u>55.56</u>	
年 度	前々年度	前年度	今年度														
日数の割合 (%)	—	0.6															
年 度	前々年度	前年度	今年度														
達成率 (%)	48.65	55.56	<u>55.56</u>														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 学習者用端末を児童が日常的に活用できるようにする。</p> <hr/> <p>指標 「心の天気」の活用率を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 学習者用端末を児童が意欲的に活用できるよう指導法を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 学習中に「デジタルコンテンツ」や「ナビマ」を活用する場面を週に2回以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員が心身ともに充実した状態で働くことができるようにする。</p> <hr/> <p>指標 会議の持ち方を工夫するなどして、「ゆとりの日」を月に2回設定する。</p>	